

3 医 務 号 外
令和 3 年 8 月 11 日

各保健所設置市 医療安全支援センター担当課長 殿

愛知県保健医療局健康医務部医務課長
(公 印 省 略)

世界患者安全の日記念イベント開催について（通知）

このことについて、医療安全支援センター総合支援事業事務局より別添のとおり通知がありました。

つきましては、御周知いただきますようお願いいたします。

担 当 医療指導グループ内
医療安全支援センター（藤井）
電 話 052-954-6275（ダイヤルイン）
ファックス 052-954-6918
電子メール iryouanzen@pref.aichi.lg.jp

2021 年 8 月吉日

各都道府県
医療安全支援センター
ご担当者 殿

医療安全支援センター総合支援事業担当
一般社団法人医療の質・安全学会
理事長 松村 由美



「世界患者安全の日記念イベント」のご案内

平素より、医療の質・安全の向上に取り組миいただき、ありがとうございます。
医療安全支援センター総合支援事業の一環として、本年度も、例年通り初任者研修、実践研修、等を予定しておりますが、この度、患者安全への世界的な取り組みおよび日本での医療安全の現状をお伝えしたく、記念イベントのご案内を差し上げます。

各都道府県の各センターにも周知をお願いいたします。

開催日程：2021年9月19日（日）11時～15時45分

20日（月・祝日）13時～17時

開催方法：オンライン開催（Zoom ウェビナー）ライブ配信

職員定員：50 名（無料、総合支援事業として実施）

イベントのプログラム内容などは、別添資料をご覧ください。

特別参加となるため、別添資料とは申し込み方法および参加費（無料）が異なります。

医療安全支援センター職員の申込は、以下の URL からお申込みください。

参加申込 URL → <http://qsh.jp/wpsd2021-center/>

【パスワードは医療安全支援センター総合支援事業ホームページの職員専用と同じです】

（内容）

1 日目：各医療機関において、医療安全のためにどのような取り組みがなされているのかを知っていただく機会になります。

2 日目：周産期医療・新生児医療をテーマとするものです。2021 年度の世界患者安全のテーマは、「安全な妊産婦・新生児医療」です。世界の状況と日本の状況は異なりますが、日本においても、「無痛分娩の安全な提供体制の構築について」医療安全支援センターが相談窓口になっています。

医療機関における医療安全の現状、周産期医療についての問題点、課題について支援センターの皆様にご覧いただき、医療機関、支援センター、市民が共に医療安全に取り組むための支援ができればと考えております。ぜひ、ご参加ください。

主催



一般社団法人

医療の質・安全学会

Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

世界患者安全の日 記念イベント

世界保健機関(WHO)が制定した“世界患者安全の日(World Patient Safety Day) 9月17日”は3回目を迎え、2021年の世界患者安全の日のテーマは、『安全な妊産婦・新生児医療』です。
今年度も、医療の質・安全学会では記念イベントを企画しました。



World
Patient Safety
Day 17 September

会 期

2021年9月19日(日) 11:00-15:45
9月20日(月・祝) 13:00-17:00

開催方法

オンライン開催(Zoomウェビナー)ライブ配信
ライブ配信および録画オンデマンド配信 配信期間:2週間程度(予定)
配信場所:公益社団法人東京都看護協会

対 象

医療安全管理者、医療安全に携わる方、周産期医療に携わる方、
医療者の皆様、一般の方の皆様のご参加をお待ちしております。

定 員

各日 500名 [先着順] 参加申込者にオンライン参加のID・パスワードを発行します

参加登録

医療の質・安全学会WEBサイトにて受付

<http://qsh.jp/>

*「受講証明書」を発行します。

(Zoom接続履歴等の発行要件を事前にご連絡します)

申込締切 2021年9月10日



参 加 費

1日目・2日目のご案内をご覧ください。

*参加費は事前にお振込をお願いします。

*参加登録完了メール「参加受理書」に記載の口座へお振込みください。

*参加登録完了メールに記載の受付番号を振込人先生名の前に付けてお振込みください。

[受付番号]+[先生名]

*一度納入された参加費は理由の如何を問わずご返金できませんので予めご了承ください。

*入金確認後、オンライン参加のID・パスワードを発行します。

[お問合せ・緊急連絡先] 一般社団法人医療の質・安全学会事務局

<http://qsh.jp/>

〒113-0033 東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル201

e-mail: secretary@qsh.jp

1日目 第37回医療安全管理者ネットワーク会議 in Web

「世界患者安全の日」記念イベント



World
Patient Safety
Day 17 September

有事にこそ優先すべきこと、 それは「患者安全」

オンライン開催
[Zoomウェビナー]

2021年 **9/19** (日) 11:00
15:45

ライブ配信および
録画オンデマンド配信
配信期間: 2週間程度(予定)

参加費 医療の質・安全学会会員 5,500円 非会員 8,800円

WHOが制定した“世界患者安全の日(World Patient Safety Day) 9月17日”は3回目を迎え、医療の質・安全学会では記念イベントを企画しました。その1日目が当医療安全管理者ネットワーク会議です。新型コロナウイルス影響下という有事にこそ優先すべきことは「患者安全」だというメッセージを掲げてオンラインで開催します。この日が、患者安全のために取り組むべきことを考える機会となり、次の一步を踏み出す節目の日となるよう期待いたします。

開会挨拶

医療の質・安全学会 理事長
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長・教授

松村 由美

来賓挨拶

厚生労働省医政局
総務課医療安全推進室 室長

岡田 就将

午前の部 11:15-12:25

座長

自治医科大学附属さいたま医療センター
医療安全・渉外対策部 副部長

亀森 康子

講演

1

セーフティIIの実践
～しなやかな医療現場を創るには～
立教大学名誉教授 株式会社社会安全研究所技術顧問 芳賀 繁

講演

2

新型コロナウイルスワクチン接種アクセシビリティ事例集
～埼玉県戸田市の危機管理防災課の取り組み～
戸田市 危機管理防災課 主幹 本山 翔太

講演

3

第16回医療の質・安全学会学術集会
開催に向けてのメッセージ
第16回医療の質・安全学会学術集会大会長
日本赤十字社 医療事業推進本部 総括副本部長 矢野 真

午後の部 13:15-15:40

座長

医療の質・安全学会 ネットワーク委員
直和会・正志会本部 看護業務担当部長

佐々木 久美子

講演

1

その“ダブルチェック”は万能か?

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長・教授 松村 由美

講演

2

患者間違いに関する事例の現状

日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部 部長 坂口 美佐

講演

3

国際患者安全目標の1丁目1番地は「患者誤認防止」
～患者誤認防止の手順とは(医療安全管理者ネットワーク会議より)～
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 看護部長 寺井 美峰子

講演

4

東京都内の病院における
患者誤認防止対策の実態調査

東京都ナースプラザ・ナースバンク東京 相談員 駒木根 由美子

講演

5

基本手技としての患者確認
～医師の立場から～

旭中央病院 産婦人科 参与・地域周産期母子医療センター 参与・
医療安全管理推進室 顧問 鈴木 真

質疑応答 15:25-15:40

休憩 12:25-13:15

後援 ニプロ株式会社からの情報提供

主催



一般社団法人

医療の質・安全学会

Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

共催



後援

ニプロ株式会社

2日目 2021 WHO世界患者安全の日 妊産婦安全推進シンポジウム

スローガン

妊産婦安全に 更なるチームの力を!



オンライン開催
[Zoomウェビナー]

2021年 **9/20** (月・祝) 13:00 - 17:00

ライブ配信および
録画オンデマンド配信
配信期間: 2週間程度(予定)

参加費 日本周産期・新生児医学会会員 / 医療の質・安全学会会員 1,100円
※専門医単位認定を申請中です。 非会員 2,200円

世界患者安全の日2021年のテーマは、『安全な妊産婦・新生児医療』です。そこで2日目は、WHOから日本の皆さんへのメッセージに始まり、世界の周産期医療の現状について学びます。国内の関係者が広く集い、すでに世界トップレベルに達している日本における妊産婦安全に係る残された課題について理解を深め、医療による害のない世界の実現に向け、更なる改善をめざし意見を出し合います。今回の取り組みは妊産婦安全共同プロジェクトの一環として行われ、本年度中に様々な取り組みを実施してゆきます。

開会挨拶 医療の質・安全学会 副理事長 藤田医科大学病院医療の質管理室 教授 **安田 あゆ子**

第1部 13:10-15:30

講演 1 「WHOから日本の皆さんへメッセージ」
世界保健機関 担当者

講演 2 国際比較でみた「周産期医療」と患者安全の課題:変わろうとするアフリカからわかること
株式会社・国際テクノ・センター顧問・国際開発コンサルタント 半田 祐二郎

講演 3 日本の妊産婦医療の歴史・現状・課題(仮)
三重大学医学部産科婦人科学 教授 池田 智明

講演 4 周産期母体を守るために～急変の感知と迅速な対応
京都府立医科大学救急医療学教室 講師 山畑 佳篤

講演 5 妊産婦脳卒中の現状と課題
京都大学大学院医学研究科脳神経外科 准教授 吉田 和道

講演 6 周産期チームを活かす組織における心理的安全性
近畿大学病院 安全管理部・医療安全対策室 室長・教授 辰巳 陽一

第2部 15:40-16:55 パネルディスカッション

分娩の更なる安全の向上に向けて:日本の残された課題と解決策は?

オーガナイザー **安田 あゆ子**

パネリスト 聖路加国際大学・聖路加国際病院小児科臨床教授・医長 **草川 功**
亀田総合病院薬剤部長 **舟越 亮寛** ほか

閉会挨拶 医療の質・安全学会 理事長
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長・教授 **松村 由美**

主催



一般社団法人
医療の質・安全学会
Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

共催



企画 妊産婦安全共同プロジェクト

2020年度医療安全支援センター総合支援事業ホームページ <http://www.anzen-shien.jp/>

職員専用ページ 利用方法



① トップページの
ログインボタンを
クリックする

② 職員専用のユーザ名・パスワードを入力する

新ユーザ名 : anzen2020
新パスワード : lryousoudan2020

※旧パスワードは2020年6月1日から使用出来なくなります